



『農商工連携セミナー』 第3回・第4回 開催報告！

開催日時：平成26年10月31日 金曜日 第3回 午前9:30～ 第4回 午後13:30～

講師：渡辺 千佳子氏 マダム・ボー研究所

講師の渡辺氏は、聖心女子卒業後、1988年東京から鹿児島に移住。大自然の過疎から新鮮な農産生物を地元の生産者と研究開発し、「過疎地から最先端の商品提供」に取り組んでいます。数々の賞を受賞されています。

第3回目 外から見た屋久島のイメージとは、『山＝縄文杉＝屋久杉』のイメージが強いらしく、海のイメージがないそうです。海のイメージが少ないだけに、水着を持参する人が少なく、せっかく訪れたのにも関わらず、海を堪能出来ない事が多い様。屋久島旅行がメインの方は、観光ガイドブックも屋久島に特化した物を購入するでしょうが、大半の方は鹿児島県のガイドブックを購入され、少ない情報を元に観光に来られるのが現状です。それ故に、山だけではなく、屋久島の様々な情報発信をする必要があります。農商工連携を進める中でとても大切な事を学びました。

第4回目 参加して頂いた方々の実際に商品化されている商品を持参して頂き、意見交換をしました。売れる為の改善方法を頂きました。販売戦力の一つとして『OEM（オーイーエム）』商品として販売していく方法を学びました。その方法とは、商品を作成し他社に販売。外箱は各業者で作り、各自で販売する事をいいます。これにより、手掛けた商品が色々な会社の商品へと化け販売できるのです。屋久島の資源を活かせる戦略として農業体験が少ない事が難点です。体験し、体験先で商品を購入出来る。身を持って体験した物や事がお土産になる様は、思いも味も格別ひとしおになる事間違いなしです。

－受講生の声－

- 商品のパッケージ作成で悩んでいましたが、よいアドバイスが聞け参考になりました。（50代・女性）
- 日常にない体験を出来る事が観光客にとっては、何よりの喜びと知りました。（40代・男性）
- 一言で楽しくスキルアップ出来て最高でした。出会いに感謝しています。（50代・女性）

その他、多数ご意見・ご感想を頂き、ありがとうございました。